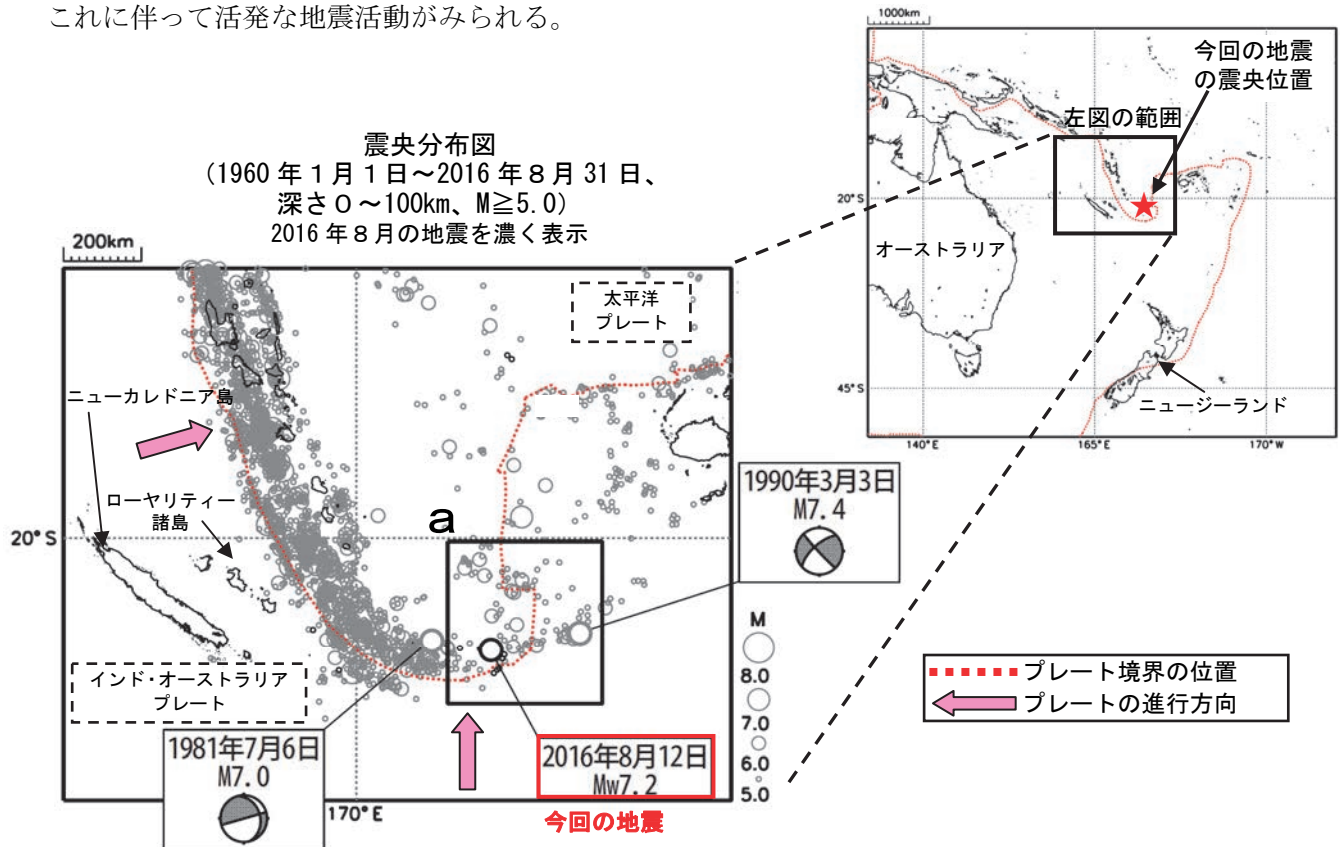


8 月 12 日 ローヤリティー諸島南東方の地震

2016 年 8 月 12 日 10 時 26 分（日本時間、以下同じ）にローヤリティー諸島南東方の深さ 16km で Mw7.2 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、北北西－南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

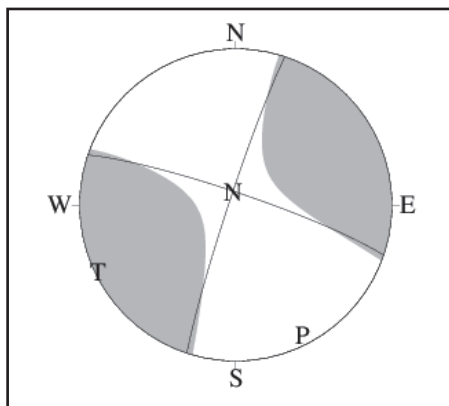
気象庁は、12 日 10 時 53 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「日本への津波の有無については現在調査中です。」）を、同日 11 時 30 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

1960 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。今回の地震の北西側では、インド・オーストラリアプレートが太平洋プレートに沈み込んでいて、これに伴って活発な地震活動がみられる。

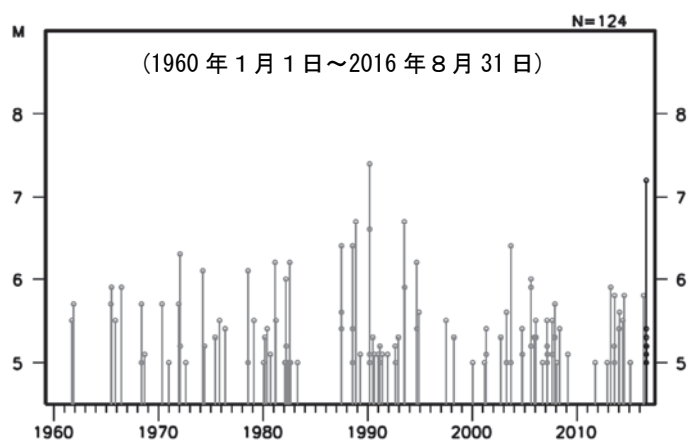


プレートの進行方向は、太平洋プレートを固定した場合の相対的な方向である。

今回の地震の CMT 解（気象庁）



領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。震源要素とその他の地震の Mw は米国地質調査所 (USGS) による。その他の地震の発震機構は GlobalCMT による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.